

日本古来より使用されてきた輪かんじきとスノーシューの違いを比べてみました。

年々、雪上ハイキングを楽しむ人たちが増えているように感じます。

従来、冬山の登山などは経験を重ねた人たちが行うイメージがあり一般の人たちにはとてもハードルが高いものでした。

しかしスノーシュー（西洋かんじき）の登場によりフワフワの新雪が降り積もった雪原を歩くことが容易になり、その雪上歩行感覚が独特なため、スノーシューのファンが増えてきて雪上ハイキングがより身近なものになったと言えるのではないのでしょうか。



輪かんじき

日本の山岳地域の里山などの樹林帯を自由に歩き回れるように作られています。

軽量で持ち運びも容易なことから、狩猟や釣り、冬仕事の際などに使われてきました。

スノーシュー（西洋かんじき）

広い雪原を快適に移動できるように作られており、雪上を歩くのに特別なテクニックを必要とすることなく極上の浮遊感覚を味わえます。



裏磐梯のスノーシューおすすめスポット

高低差が比較的少なく歩きやすい！

- ・五色沼自然探勝路
- ・レンゲ沼・中瀬沼探勝路 …など

ガイドさんと一緒に！

- ・イエローフォール（厳冬期に出現する磐梯山の爆裂口にできる氷瀑） …など

暖かいこたつを抜け出して、まるで墨絵のような雪景色や生き物たちの姿を探しに裏磐梯へ出かけてみませんか？

